



# コロナを乗り越えて

顧客に寄り添う人間力育む

—人材の育成についてお聞きします。お一人は日頃から「人間力」という言葉をお使いになられます。銀行経営者と教育者というそれぞれの立場は、実は医師も同じ立場です。親身に患者に接することは医師の基本です。九大病院は医療の最後の砦と頼られますが、救えない命もある。患は、実は医師も同じ立場で治の偉人で、石橋総長と同じように眼科医だった高場乱（たかば・おさむ）をお調べになつてゐるところです。

場から、考え方や思いをお話し  
ください。

谷川 2014年に頭取に就き、経営の方針に人間力を  
掲げました。「銀行業は詰まるところの人であり、心である」  
者や家族に治療の説明を尽くし、最期まで診てくれると納  
得してもらえるかどうかで、遺族のお気持ちも変わるのでし  
ょう。人間力の大切さは医師や銀行員に限つた話ではな  
ど、豪傑で多くの若者に影響を与えたそうですね。

高場は女性ですが、代々の眼科医を継ぐよう男として育てられ、髷を結い帯刀も許されていました。陽明学

く、こうした九大生を育てた  
の学者、教育者の顔も持つて  
いました。幕末に育ち、儒学  
者である龜井南冥（かめい・  
なんめい）の流れをくむ福岡  
の「三女傑」に数えられま  
す。その事業には教育が重要です。  
谷川会長は郷土・福岡の歴史  
と人生に触れるとい  
うことは、人生に触れるとい  
うことです。こちらも人間と  
いう私の信念に起因してい  
ます。取引先の経営者は人生  
を懸けて事業に向き合ってい  
く、こうした九大的信念を育てた  
の学者、教育者の顔も持つて  
います。幕末に育ち、儒学  
者である龜井南冥（かめい・  
なんめい）の流れをくむ福岡  
の「三女傑」に数えられま  
す。その事業には教育が重要です。  
谷川会長は郷土・福岡の歴史  
と人生に触れるとい  
うことは、人生に触れるとい  
うことです。こちらも人間と

九州で課題解決、世界へ



と戸惑いの声が上がりました  
が、重要性を説き続けました。  
た。人間力は自己研さんによ  
り磨かれ、さらに仕事だけで  
はなく夢中になる趣味や勉強  
を続けることで人間としての  
深みも増します。

一例ですが、債権管理にお  
いて「会社がつぶされたのはお  
たくのせいだ」と銀行を恨む  
人もいれば、「いろいろ助言  
してくれたのに申し訳ない」  
と礼をいわれる場合もある。  
苦境に立たされた経営者にど  
こまで寄り添い、話をしたの  
か。恨まれるか感謝される  
か、人間力の差が表れます。

石橋 私も総長就任の際、  
学生に人間力をつけたい、と  
所信表明しました。知的能力  
だけでなく、対人関係力も身  
につけてほしいとの思いがあ  
ります。

谷川 谷川会長の債権管理の話  
視点から取り組む企業に対  
す。

ー社会貢献に関しては、S  
DGs（国連の持続可能な開  
発目標）の取り組みが九州・  
福岡の企業でも盛んになつて  
います。西日本シティ銀行は  
その活動に大変力を注がれて  
います。

谷川 地域とお客様の発  
展あつての当行です。だから  
こそ長年、本業による地域や  
産業の振興はもちろん、文化  
事業などを続けてきました。  
いわばSDGsを先取りして  
きたといえます。今後の社会  
を考えると、企業もただ稼げ  
ばよいということではないで  
しょう。これから当行は取引  
先を巻き込む活動を進めてい  
きたい。手数料の一部を子ど  
も食堂や学校などに寄付する  
SDGs私募債は、発行総額  
が300億円に達しました。  
しかも導入しました。このサービ  
スへの関心も高まっています。



九州大学総長  
石橋 達朗氏

いしばし・たつろう  
81年（昭56）九大医院（病理学教室）修了、同年九大医学部眼科助手。  
95年同助教授、01年九大院教授、13年九大副学長兼任、14年九大病院長、  
20年九大総長。長崎県出身。

――石橋総長は九州を代表する九州大学の社会的使命をどうお考えですか。

脱炭素の研究成果となる九大力ボンニュートラル・エネルギー国際研究所が開発した、大気中の二酸化炭素を回収するための世界最高クラスの性能を持つ分離膜

が、私は税金が投じられている国立大学として、社会貢献は特に使命だと思います。本学の将来ビジョンとして「総合知」で社会変革を牽引する大学になることを掲げます。総合大学として人文社会科学から自然科学までを擁する本学は、多様な側面からイノベーションを生み出す総合知を有しています。そしてその姿をこう表現こころうと

[View all posts](#) | [View all categories](#)

The diagram illustrates the mission of OPACK (Organization for Promotion Academic City by Kyushu University). It features three main components arranged horizontally: '企 業 (ニーズ)' (Enterprise) on the left, 'OPACK' in the center, and '九州大学 (シーズ)' (Kyushu University) on the right. An arrow points from the Enterprise box to the OPACK box, which then branches out to both the University and Enterprise boxes. The OPACK box contains a handshake icon and the word 'マッチング' (Matching). Each box also lists specific areas of focus: the Enterprise box lists '課題解決' (Problem Solving), '人材育成' (Human Resource Development), 'DX推進' (Promotion of DX), and 'etc.'; the University box lists '脱炭素' (Decarbonization), '農林水産' (Agriculture, Forestry, and Fisheries), 'ライフサイエンス' (Life Sciences), and 'etc.'.

公益財団法人九州大学学術研究都市推進機構(OPACK)  
Organization for Promotion Academic City by Kyushu University

〒819-0367 福岡市西区西都1-1-27  
TEL : 092-805-3677 E-MAIL : info@opack.jp  
<https://www.opack.jp>

